



日本学術会議主催学術フォーラム

放射性物質の移動の計測と予測

—あのととき・いま・これからの安心・安全—

日時：平成29年8月7日（月） 12:00～17:00

場所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7丁目22番地34号）

東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車、5番出口（青山霊園方面）より徒歩1分

お申込み：下記申込フォームより8月4日（金）17時までにお申込みください。

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0067.html> 参加無料，定員250名，先着順

お問合せ先：日本学術会議事務局 企画課学術フォーラム担当 電話：03-3403-6295

主催：日本学術会議 後援：日本地球惑星科学連合，日本気象学会，日本海洋学会（順不同）



■開催趣旨

原発事故時の住民防護を考える上で、放射性物質の移流・拡散の計測（モニタリング）と予測は極めて重要な要素である。本フォーラムでは、福島第一原子力発電所事故時の緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）等の予測手法の問題点の検証と、現在の技術的到達レベルについて、これまでの地球惑星科学委員会における審議の成果を公表するとともに、その成果に基づいて対策を社会実装するときに忘れてはならないものは何かについての検証と分析を行う。それらを通じて得られた共通認識を踏まえて行うパネル討論では、真に住民の安全確保に貢献しうるモニタリングと予測があるとすれば、それらが備えるべき要件は何かを審らかにする。

■プログラム

総合司会 高橋 桂子（日本学術会議第三部会員、国立研究開発法人海洋研究開発機構地球情報基盤センター長）

12:00-12:05 開会挨拶

大西 隆（日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授）

12:05-12:15 地球惑星科学委員会の審議内容と本フォーラムの趣旨説明

大久保修平（日本学術会議第三部会員、東京大学地震研究所教授、高エネルギー素粒子地球物理学研究センター長）

第1部 原発事故時の放射性物質のモニタリングと移動の数値予測の現状と課題

司会 高橋 桂子（日本学術会議第三部会員、国立研究開発法人海洋研究開発機構地球情報基盤センター長）

12:15-12:35 福島第一原発事故による放射性物質の移動の実態

恩田 裕一（筑波大学生命環境系教授、文部科学省科研費新学術領域研究「福島原発事故により放出された放射性核種の環境動態に関する学際的研究」領域代表）

12:35-12:55 福島第一原発事故時の放射性物質移流拡散問題－日本気象学会の事故後の活動と数値予測モデルの活用策について－

岩崎 俊樹（東北大学大学院理学研究科教授、公益社団法人日本気象学会理事長）

12:55-13:15 大気化学輸送の観点からの物質輸送モデリングの現状と課題

中島 映至（日本学術会議連携会員、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構第一宇宙技術部門地球観測研究センター長）

13:15-13:35 モニタリングと大気拡散計算による原子力事故影響の把握とその事故対応への反映

山澤 弘実（名古屋大学大学院工学研究科教授）

第2部 放射性物質のモニタリング・予測情報をどう活かすべきか？

司会 中村 尚（日本学術会議第三部会員、東京大学先端科学技術研究センター副所長・教授）

13:50-14:10 原子力リスクの評価と原子力防災のあり方

山口 彰（東京大学大学院工学系研究科教授）

14:10-14:30 マルチエージェント社会シミュレーションが浮き彫りにする緊急時避難の課題

野田五十樹（産業技術総合研究所総括研究主幹）

14:30-14:50 緊急時のモニタリング・予測情報とマスコミの役割

小出 重幸（日本科学技術ジャーナリスト会議前会長・理事、政策研究大学院大学客員研究員）

14:50-15:10 モニタリング・ポストの現状と現場自治体の対応

岩永 幹夫（公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター専務理事）

第3部 総合討論及びパネルディスカッション

15:30-16:00 総合討論（参加者と講演者8名による質疑応答）

司会：高橋 桂子（日本学術会議第三部会員、国立研究開発法人海洋研究開発機構地球情報基盤センター長）

16:00-16:55 パネルディスカッション：

国民の安心・安全を守るために放射性物質のモニタリング及び移流・拡散予測に求められる要件とは？

司会：大久保修平（日本学術会議第三部会員、東京大学地震研究所教授、高エネルギー素粒子地球物理学研究センター長）

中村 尚（日本学術会議第三部会員、東京大学先端科学技術研究センター副所長・教授）

パネリスト：大西 隆（日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授）

講演者8名

16:55-17:00 閉会挨拶

藤井 良一（日本学術会議第三部会員、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 機構長）